

平成30年第11回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成30年9月27日

仙北市教育委員会

平成30年第11回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成30年9月27日(木) 午後2時25分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	河原田 修
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	浦山 英一郎
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
北浦教育文化研究所長	三浦 政喜
角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
生涯学習課長	佐々木 幸美
田沢湖公民館長	真崎 智明
角館公民館係長	藤本 順子
西木公民館長	保坂 博明
市民会館長兼田沢湖図書館長	高橋 徳夫
学習資料館・イベント交流館長	富岡 美津子
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 報告事項

報告第30号 仙北市議会定例会一般質問について

報告第31号 秋田県立角館高等学校定時制課程創立70周年記念事業費補助金交付要綱の制定について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、平成30年第11回仙北市教育委員会9月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には村瀬課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

(熊谷教育長)

実りの秋を迎え、市内小中学校では、学習発表会の開催や文化祭の準備が真っ盛りです。私も各学校からご案内をいただいていたのですが、田沢湖マラソン、生保内節全国大会等と大きなイベントが続いたこともあり、大変残念ではありますが出席することが出来ませんでした。各学校では、先生と子ども達が一丸となって工夫を凝らし、それぞれで特色のある素晴らしい内容の学習発表会であったとお話を伺っています。子ども達は、スポーツ面では、大変素晴らしい成績を収めていますが、文化面でも負けずに頑張っている状況です。今後開催されます各中学校の文化祭に期待を申し上げます。また、10月に入りますと、13日から始まります角館地区の文化祭を皮切りに市内各地区の文化祭が開催されます。生涯学習活動が年々盛んになっている状況です。中央公民館構想もあり、社会教育委員の皆さんも大変張り切っていますので、様々な面で素晴らしい作品等が展示、発表されるのではないかと思います。

次に9月16日に田沢湖マラソンが開催されました。所管となるスポーツ振興課を中心に教育委員会職員はもとより、市職員が一丸となって今年も素晴らしい大会となりました。年々スタッフの対応が良くなっているという評価をいただいています。ただ、トイレの設置数が少ないというご要望を各方面から寄せられていますので、今後の課題として検討をしていただきたいと思います。

次に9月22日、23日の2日間、生保内節全国大会が開催されました。スタッフの皆さんには、大変ご難儀をお掛けしましたが、その中で、司会者との連携がスムーズに行われていなかったというご意見をいただいています。これについては、来年に向けて改善していただきたいと思います。また、今年は、市内の地主和希さんが一般の部で最優秀賞に輝きました。地元出場者が日本一になったということは大変喜ばしいことです。こうした面からも、北浦文化を大切にしていかなければならないと改めて感じたところです。

(熊谷教育長)

次に、9月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

9月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、報告第30号仙北市議会定例会一般質問について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第30号仙北市議会定例会一般質問について、平成30年第5回仙北市議会定例会で別紙のとおり答弁しましたので報告いたします。

なお、今市議会定例会の一般質問は9月11日、12日の2日間行われ、4名の議員から質問が出されました。

－資料により報告－

(答弁内容の報告要旨)

【高橋豪議員：市有財産の有効活用について（角館東地区公民館の大規模改修について）】

- ・公共施設等総合管理計画では、体育館の屋根やフロアの劣化改修工事と耐震補強工事等を併せて行うこととしている。目標年度については、今後策定が予定されている「社会教育施設ストック適正化計画」に基づき生涯学習活動の拠点施設とすることを目的に改修計画を進めたいと考えている。

【高橋豪議員：総合体育館整備計画について】

- ・市民の生涯スポーツ活動や健康づくりの拠点としての役割はもちろん、大規模なスポーツ大会や文化大会、各種イベントの開催において仙北市のスポーツ・文化の発展、地域の活性化に寄与することを目指すほか、大規模な災害時の防災拠点となる施設を目指したい。
- ・財源の確保については、国等の助成制度の活用を含めて情報収集に努めるとともに、出来るだけ有利な補助制度を活用できるよう庁内で継続して議論する。
- ・体育施設のマスタープランで検討されている既存施設の集約、廃止や指定管理による管理委託を含めて幅広く検討を行いながら経費削減に努め、経費の捻出に取り組んでいく。
- ・全国規模の競技やイベントの誘致に関しては、スポーツ団体に限らず他業種の団体と情報交換の機会を設けながら、秋田新幹線や国道46号からのアクセスの利便性を活かしながら集客に努めたい。
- ・第2次総合計画及び総合戦略において、「生涯スポーツ活動を支援し、市民の心身の健康に寄与するとともに、高度なプレーを間近に観戦する機会を通してスポーツへ参画する機運を後押しする」として、総合体育館の整備に取り組むこととしている。財政的な面、施設規模等の諸課題を調査、検討しながら、建設に向けて継続的に議論を行う。

**【高橋豪議員：通学路の安全確保について（コンクリートブロック塀等構築物の点検・調査等について）】**

- ・6月21日、市内小中学校のコンクリートブロック構築物等について点検・調査を行った。角館小学校のプール北側面に今回の対象となっているブロック塀が設置されていた。すぐに全国建築コンクリートブロック協会の診断カルテにより、自己診断を行った結果から、角館小学校にプール授業には支障ない旨を伝えた。
- ・7月19日、ブロック塀の現状調査を委託した。「建築基準法に適合していないが、有効な控え壁が設けられているため、直ちに危険が迫っているとは考えられない。近い将来撤去し、より軽い素材の塀にすることが望ましい。」との結果となった。この結果を受け、プール授業終了後には撤去し、新しい柵を設置する必要があると判断し、本定例会に補正予算計上している。
- ・8月8日、9日に夏の通学路合同点検を市内全7小学校で実施した。通学路に関する危険ブロック塀については、3小学校から挙げられ、危険が感じられる4箇所を合同で点検を行った。点検内容を踏まえ、基準を満たしていない箇所については、通学路の変更やブロック塀が設置されていない反対側の歩道を利用することを緊急対応として、学校を通して児童生徒、保護者に指導及び伝達した。通学路に関連する危険ブロック塀の把握、確認及び対応については、各学校と連携しながら今後も継続して進める。
- ・本市では、平成26年7月に「仙北市通学路安全推進協議会」を設置し、「仙北市通学路交通安全プログラム」を策定した。合同点検の実施により、改善、対策が進められている。ハード面では、車両用、歩行者用信号機の新設、歩行者用のグリーンベルトの新設、スクールバス停留所のバス停車スペースの拡幅等が挙げられる。ソフト面では、注意喚起の看板設置、通学経路の変更、除排雪の工夫等が挙げられる。また、対策済の箇所についても計画的な合同点検で状況を確認し、対策効果の検証に努めてきた。今後も、学校及び関係機関と連携しながら、通学路の安全確保に鋭意努めたい。
- ・これまで、合同点検での確認状況等については、点検後の「通学路安全推進協議会」で、再度検討、協議した後に各学校を通じて児童生徒及び保護者へ伝えてきた。今後、市のホームページを通じて広く公表できるよう準備を進める。

【小木田隆議員：当局の考え方について（給食の食材調達を地元の業者を優先的に利用しているか）】

- ・現在、学校給食調理等を委託している業者との契約により、地元業者を利用させていただいている状況である。市内3学校給食センターで24社（角館9社、田沢湖9社、西木6社）となっている。第2期仙北市食育推進計画の中でも目標率を仙北市産40%以上、秋田県内産50%以上として取り組んでいる。市内の業者では、調味料業者、精肉店、養鶏場、豆腐店、鮮魚店等からの食材を利用している。市内業者で利用できる業者については、安定供給、安定価格、衛生面を考慮し、優先的に利用させていただいている。今後も、安心安全な給食の提供に努め、児童生徒に楽しく美味しい給食の提供を心がけ、食についての学びも推進する。

【平岡裕子議員：酷暑対策について（小中学校普通教室にエアコンの設置を）】

- ・昨今、学校の学習環境づくりについて、国でも検討する動向が見られるようになった。仙北市では、エアコン設置について順次計画し、保健室や特別教室などに設置している。普通教室に設置する場合、段階的に進めると不公平感が生じてしまい、また、市内全ての学校に一斉に設置するのはなかなか踏み切れない状況である。さらに、設置を進めていく上で、各学校の電気設備、配線関係等も整備していかなければならない。学校によっては、築40年以上の長寿命化事業、築20年以上の大規模改造等で事業の計画を進めている現状もあり、今後、国の動向を見定めながら老朽化対策による各事業に学習環境づくりも含めて進めていきたいと考えている。

【田口寿宜議員：市民会館の設備更新について】

- ・仙北市民会館は築37年を経過し老朽化が進んでいるため、設備更新の必要性は十分認識している。施設の整備については、舞台の安全管理上、吊り物の更新を最優先とし、電気設備、舞台照明等、順次計画する。開館40周年にあたる2020年までには、最低限度の工事を終えたいと考えている。今後も仙北市文化活動の拠点として、それに応えるべく施設整備について計画する。

【田口寿宜議員：CS（コミュニティ・スクールについて）】

- ・学校の第一義的役割は、言うまでもなく仙北市の未来を担う子供たちの教育ではあるが、その他にも地域の防災、子育て、交流の場など様々な機能も併せ持ち、地域の拠点の一つとなっている。また、これからの学校教育は、学校内で閉じることなく、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることが求められていることから、コミュニティ・スクールについても、その実現へ向けた手段の一つとして捉えている。
- ・教育委員会では、「社会の開かれた教育課程」の推進に向けて、まずは、地域学校協働活動の市全体への拡大を優先的に検討しているところである。コミュニティ・スクールについても、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みであり、地域学校協働活動の拡大とともに、近隣市町村の動向も注視しながら引き続き検討を進める。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(坂本委員)

何点が質問させていただきます。初めに「社会教育施設ストック適正化計画」とは、具体的にはどのような内容の計画でしょうか。

(戸澤教育部長)

財政課において、公共施設等総合管理計画を策定しました。今後、公共施設等をどの様

にするかということで、目標数値を築30年経過すると床面積を35%削減するというものです。施設の老朽化に伴い維持管理費の掛かり増しも見込まれることから段階的に削減していこうという考えとなっています。その目標数値となる床面積を35%削減するために、これは社会教育施設となっていますが、教育委員会関係では、学校とスポーツ施設からなる3つの個別の適正化計画を策定しなければならないことになっています。国の指針では、平成32年頃まで策定していただきたいという内容になっています。その中の「社会教育施設ストック適正化計画」ということで、これらについては、今後、教育委員の皆様からご意見等をいただきながら進めなければならないと考えています。

(坂本委員)

総合体育館の整備に関連することになりますが、一般質問の中で集客面について様々な工夫が必要ではないか、との質問があったわけですが、市民会館と総合体育館とが連携すれば大きなイベントの開催が可能になると思います。先日、仙北市で開催された高橋優さんのフェスには多くの集客があったとお聞きしていますが、やはり面白いイベントがあると多くの人が集まると思います。自分が行きたいと思えるイベントであれば、人はお金を払ってでも参加します。是非こうしたことも含めてスポーツのみならず文化的な面も計画の中に組み入れていただきたいと思っています。

(伊藤スポーツ振興課長)

イベントの集客に限らず、そこで観るスポーツというのが、とても話題になっていることでもありますので、スポーツに限らずマーチングの大会など人気のあるイベントを開催できる規模のものを作りたいという思いで検討を進めたいと考えているところです。

(坂本委員)

私は、何年も前からマーチングの開催を要望していたこともあり、あえて口にできなかった訳ですが、大変ありがとうございます。

(戸澤教育部長)

ランニングコストを考慮すれば赤字が想定されるわけですが、外から多くの人を訪れ各分野への経済効果を得られれば、数字では示していませんが、トータル的に考えれば、ある意味では黒字として捉えてもいいのではないかと考えています。財政面では厳しい状況ではありますが、こうしたこともご理解いただければとも思っています。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

－質問なし－

報告第30号仙北市議会定例会一般質問については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告第31号秋田県立角館高等学校定時制課程創立70周年記念事業費補助金交付要綱の制定について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

報告第31号秋田県立角館高等学校定時制課程創立70周年記念事業費補助金交付要綱の制定について説明いたします。

これについては、先の定例会で補正予算をお諮りいたしました。補助金を交付するうえで、交付要綱の制定が必要になりますので本定例会で報告するものです。

なお、補助金の交付額は10万円となり、実行委員会から提出されている要望書の中では、記念誌を作成したいという内容になっています。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

報告第31号秋田県立角館高等学校定時制課程創立70周年記念事業費補助金交付要綱の制定については承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、その他の時間といたします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(三浦北浦教育文化研究所長)

8月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校1件、中学校1件の認知件数の報告がありました。

次に、8月の不登校についてですが、小学生2名、中学生12名、計14名となっております。

以上、8月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷委員長)

8月の報告事案について、質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

不登校対策で、これまで解消が図られた実践的な記録などの資料は残っていないでしょうか。現在、たくさん子どもたちがとても辛い思いをしているので、もし、そのような資料が残っていれば、今後の指導や対応に向けて、それを通して伝えることも大事なことでと思いますので質問させていただきました。

(三浦北浦教育文化研究所長)

第一に魅力ある学校づくりということで、授業の充実が重要になると思います。子どもたちが学校生活の中で過ごす時間が一番長くなるのは授業となりますので、そこで如何に居場所を感じられるかということになると思います。現在も、不登校問題を抱える学校では、その点を大切にしながら進めていますが、どうしても様々な状況が原因となっていることが見受けられます。

(安部教育長職務代理者)

私が聞きたいのは、現在、不登校問題を抱えている学校に対して、当時の実践内容や魅力ある学校づくりからの授業の充実に向けて取り組んだことを是非伝えてもらいたいし、もし、当時の記録がなければ、所長が学校訪問等の際に各学校に伝えてもらいたいという思いから質問したところです。

(三浦教育文化研究所長)

現在、関係者が集まってケース検討会議を開催しています。その中で各学校において効果があった実践等を紹介するなどの取り組みを行っている状況です。これについては、今後も継続したいと考えています。

(熊谷教育長)

もし、実践資料等がありましたら、各学校に伝えていただきたいと思います。

(三浦教育文化研究所長)

はい。承知いたしました。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

－質問なし－

(熊谷委員長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

平成30年第9回仙北市教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてです。  
ページに沿ってご説明いたします。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気づきの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

他にありませんか。

(伊藤スポーツ振興課長)

本日の魁新聞のスポーツ覧に第33回田沢湖マラソンの参加者数4人分が間違っていたということで、訂正の記事を掲載させていただいています。その理由といたしましては、当日の出走数の中で、10kmのエントリーで3人、20kmのエントリーで1人がスタートラインに設置していた電波を受信するシートがあり、スタート地点を通過していなかったという事実がありました。出走数につきましては、スタート地点を通過した人数で魁新聞には報告しましたが、4人は、実際のところトイレ等に行っており、スタート地点を通過せずに出発をしてゴールをしたということで、ゴールのタイム記録は残っていますが、スタートの記録がないということで4人分を削除したということです。それぞれのランナーに連絡をとりましたところ、やはりトイレ等に行っておりましたが、実際はゴールしたということを確認がとれましたので、正規の距離とは言えないかもしれませんが、完走者記録もありますので、今回4人を加えた人数で訂正記事を掲載させていただいたということになります。

また、集計表中、今回のエントリー数が4,970人となり前回より100人程増えました。その内、受付数が4,688人で、約5%の人はエントリーをしましたが受付をしなかったという状況です。出走数は、先程説明いたしましたとおり、4人のランナーを加え4,473人となり完走数が4,156人で完走率が92.9%という状況です。完走率が低下した理由として、当日の最高気温が26℃となったこともありフルマラソンの完走率の低下が挙げられます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

本日の午前中、国際交流推進室を通じて、生保内中学校と台湾台北市内の中学校との交流事業の提案がありました。相手側から、生保内中学校を指定したいという要望内容となります。今後、日程が合えば教育長と生保内中学校長が、先ずは顔合わせを兼ねた表敬訪問を行いたいと考えています。

本日の総合教育会議で市長と教育長からも報告がありました総合給食センターの建設費等に関わる補正予算が、先日開催されました市議会予算常任委員会で、当事業費の減額修正案が可とすべきとして決定になりました。これについての経緯を報告させていただきます。去る9月14日に所管となる市議会総務文教常任委員会が開催され、当補正予算について説明をいたしました。補正予算額については、概算で事業費を計上した内容となっており、議員各位からは総じて概算では納得できないというご指摘を受けました。また、実施設計の納品期日が9月20日ということで、成果品が納品されてから、正式な設計図等の資料を提出すべきだという意見をいただきました。

こうした事態を受け、市当局と協議を行い、10月5日に総務文教常任委員会協議会、そして、10月9日に市議会議員全員協議会を開催していただき協議を行い、10月16日の市議会臨時会で、再度ご審議をいただく予定とさせていただいています。

事業費につきましては、当初約12億7千万円を見込んでいましたが、精査の結果、約12億5千8百万円と当初見込んでいた金額よりも減額になります。補正予算は、継続費として、委託料と工事請負費の約10%相当額を計上し、平成30年度、31年度の実施事業となります。

(熊谷教育長)

議会对応をきちんと行っていただくようお願いいたします。

(伊藤スポーツ振興課長)

秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたランについて、来年度、仙北市において開催することか出来ないかということが秋田県から要請がありました。これを受け市長、副市長と協議を行い、来年度、仙北市で開催したいという方向で検討している状況です。これについては、明日最終日となる市議会定例会の中で、市長から報告を行う予定としています。

今年は、10月に開催されますが、来年の開催時期は9月末か10月初旬の土日に開催されることが想定され、仮に、9月となった場合は、教育委員会所管のイベントが続きますので、非常にタイトなスケジュールになることが見込まれます。また、会場につきましては、角館を中心という方向で考えているところです。

(熊谷教育長)

今年は、鹿角市で開催される県内25市町村対抗のふるさと駅伝大会となります。

(熊谷教育長)

ほかに報告等はありませんか。

(熊谷教育長)

それでは、以上で平成30年第11回仙北市教育委員会9月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後3時20分)